

U.S. Indicators

米国 好調さを増す米製造業は広がりを行い拡大（17年2月ISM製造業景気指数）

：2017年3月2日（木）

～内外需要の拡大や在庫調整の進展により押し上げ～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
16/03	51.7	57.1	55.7	48.5	47.0	50.4	51.0	51.5	52.0	49.5
16/04	50.7	54.9	54.6	49.2	45.5	49.1	50.5	59.0	52.5	50.0
16/05	51.0	54.8	52.7	49.3	45.0	53.3	47.0	63.5	52.5	50.0
16/06	52.8	55.6	54.8	50.0	48.5	54.9	52.5	60.5	53.5	52.0
16/07	52.3	56.1	54.8	49.3	49.5	51.8	48.0	55.0	52.5	52.0
16/08	49.4	48.9	49.3	48.7	49.0	51.2	45.5	53.0	52.5	47.0
16/09	51.7	55.0	53.3	50.0	49.5	50.8	49.5	53.0	52.0	49.0
16/10	52.0	54.1	54.4	51.8	47.5	52.2	45.5	54.5	52.5	52.0
16/11	53.5	54.8	55.6	52.5	49.0	55.5	49.0	54.5	52.0	50.5
16/12	54.5	60.3	59.4	52.8	47.0	53.0	49.0	65.5	56.0	50.5
17/01	56.0	60.4	61.4	56.1	48.5	53.6	49.5	69.0	54.5	50.0
17/02	57.7	65.1	62.9	54.2	51.5	54.8	57.0	68.0	55.0	54.0

(出所) ISM : the Institute for Supply Management

製造業景気指数は57.7 と前月比1.7%ポイント上昇

17年2月のISM製造業景気指数（季節調整値）は、57.7と前月比1.7%ポイント上昇し、14年8月以来の高い水準となった（市場予想中央値55.6、筆者予想60.0）。ISM製造業景気指数は、ドル高の影響を受けながらも、国内需要の堅調さのほか、原油価格の上昇による石油掘削リグの稼働数の増加、世界的な需要の回復、在庫調整の進展等を背景に米国製造業の活動が一段と活発化していることを示している。

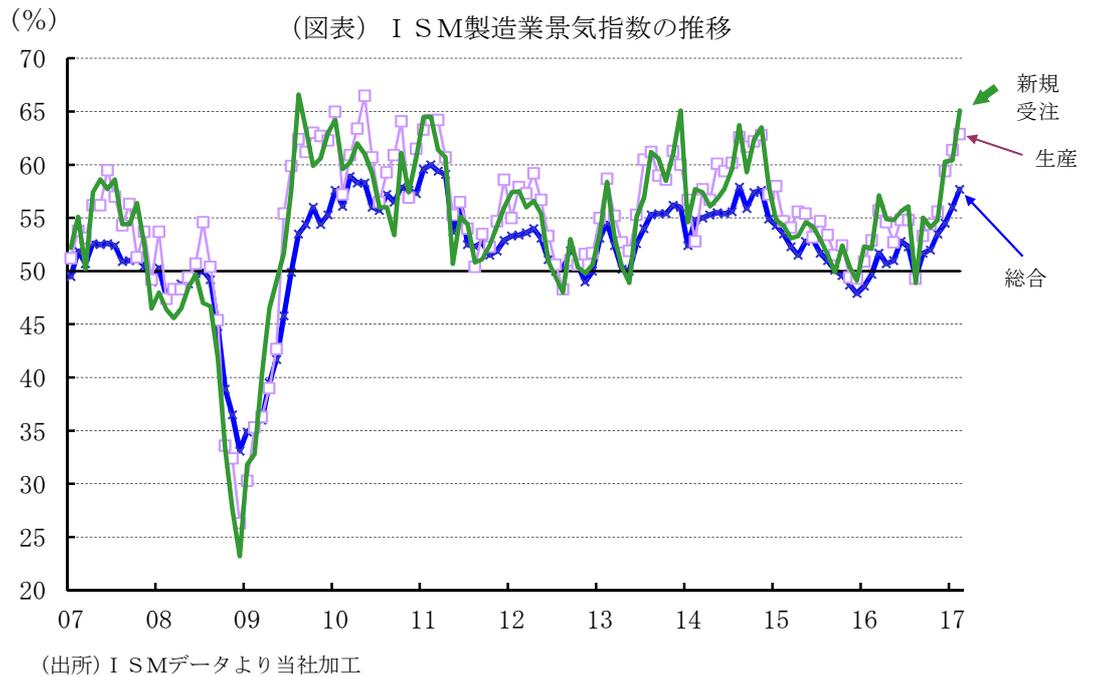
総合指数を構成する項目では、雇用が低下したが、比較的高い水準を維持しているほか、新規受注、生産、在庫、入荷遅延が前月から上昇した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、雇用（前月比▲0.38%p）が押し下げ寄与となったが、新規受注（前月比+0.94%p）、在庫（前月比+0.60%p）、生産（前月比+0.30%p）、入荷遅延（前月比+0.24%p）が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比1.7%ポイント上昇した。新規受注が高い水準に上昇し最大の押し上げ寄与となっていることは、内外需要の拡大を示してており、世界的な景気拡大ペースの加速を示唆している。

総合（全18業種、下線は拡大、縮小が2カ月以上続いたことを示す）で拡大した業種は、アパレル、一次金属、一般機械、木材製品、化学製品、コンピューター・電子機器、プラスチック・ゴム、非鉄、紙製品、輸送機器、家具・同関連、加工金属、その他製造業、食品・飲料・タバコ、電気設備・部品、石油・石炭の16業種（前月12業種）と前月から増加した。輸送機器が1Qの需要安定を指摘したほか、食品・飲料・タバコでは需要の強さと大規模設備投資の発表が報告された。原材料、中間財、投資財、消費財のすべての段階で前向きな報告が行われた。需要が強まり等を背景に、広がりを持った製造業の拡大が示されている。一方、縮小した業種は、ゼロ業種（5業種）に減少した。印刷・関連サポート活動、繊維は変わらず。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

製造業景気指数は目先高水準を維持も、ドル高の影響等により緩やかな拡大を示す水準に低下する公算

今後、雇用・所得の拡大等を背景に個人消費を中心とした国内需要が堅調さを維持するほか、世界経済の拡大が続くとみられる一方で、ドル実効レートは米国景気への楽観的な見方の高まりや利上げペース加速期待の強まり、米国への資金還流等の影響を受け、高止まりすると予想される。このような中で、ISM製造業景気指数は、数か月間高い水準を維持し、製造業の緩やかな拡大を示す水準に徐々に低下すると予想される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。